

一覧詳細

1	対象となるがん	胃癌又は胃食道接合部癌
2	使用される新薬(治験薬)	Bemarituzumab
3	実施方法(治験のデザイン)	ランダム化、他施設共同、二重盲検、第Ⅲ相試験
		A群: Bemarituzumab+mFOLFOX6 投与群
		B群: プラセボ+mFOLFOX6 投与群
		※この治験に参加した患者さんは、A群、B群のいずれかの治療を受けることになります。A群になるかB群になるかはわかりません。
4	治験に参加いただける患者さんの 身体状況(患者選択基準) ※患者選択基準の概要の一部で す。	①切除不能な局所進行性又は転移性の胃癌又は胃食道接合部癌(根治的治療を実施できないもの)を有する成人患者さん
		②中央検査機関で実施した免疫組織化学検査により、線維芽細胞増殖因子受容体2b (FGFR2b)の過剰発現が示された方
		③ECOGパフォーマンスステータスが0~1の方
		④RECIST v1.1に基づく評価可能病変を有する方
		⑤mFOLFOX6化学療法が禁忌ではない方
		⑥適切な臓器・骨髄機能が保持されている方
		⑦
		⑧
		⑨
		⑩
5	治験責任医師	津田 政広 医師

知的財産権の保護等の理由により、非公開の要望のあった項目については、表中の項目を「-」としています。